
当センターの機器を成果専有および成果非専有利用して行った研究を論文等で発表する際には、以下のご配慮をお願い申し上げます。

●全て自己測定として機器を利用した場合は、その旨とAMED生命科学・創薬研究支援基盤事業（BINDS）および九州大学大学院薬学研究院・グリーンファルマ構造解析センターで共用された機器を利用した成果として「謝辞」に記載する。

●センター教職員が技術的な貢献（サンプル作製、撮影、分析、解析など）をした場合は、「共著者」とした「謝辞」にAMED生命科学・創薬研究支援基盤事業（BINDS）および九州大学大学院薬学研究院・グリーンファルマ構造解析センターで共用された機器を利用した成果として記載する。

（謝辞の参考例文）

● We thank Mr. or Ms. [名前] of Structural Drug Discovery Center via Green-Pharma at Faculty of Pharmaceutical Sciences Kyushu University for [his, her, their] excellent technical support for using [機器名].

● [測定、分析など] was carried out by [機器名], Structural Drug Discovery Center via Green-Pharma at Faculty of Pharmaceutical Sciences Kyushu University.

● This research was [partially] supported by Research Support Project for Life Science and Drug Discovery (Basis for Supporting Innovative Drug Discovery and Life Science Research (BINDS)) from AMED under Grant Number JP22ama121.

また、知的財産（特許等）に関する出願を行う場合下記規程のとおり、本利用によって発生する知的財産権は原則として成果非専有利用者に帰属いたしますが、本利用の内容によっては出願に関する権利（特許を受ける権利等）が大学にも発生する場合がありますので、九州大学大学院薬学研究院・グリーンファルマ構造解析センターにその旨をご連絡ください。

上記ご配慮はセンターの技術職員の大きな励みになると共に、センターの全学の教育研究活動への貢献を継続する上で大切な資料になります。ご賢察の上、ご理解とご協力を頂きたく、重ねてお願いを申し上げます。
